

学習内容報告書 フォーマット

学校名	唐津市立東唐津小学校
授業者	浅山 友寿

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

東の浜クリーン大作戦

1-2. 学年

6年生

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習の時間

1-4. 単元の概要

これまで、東の浜の清掃活動を続けてきている児童だが、ごみがなくならないという解決困難な課題が目の前にある。海には人間が出したごみによって苦しめられている生き物が多く住んでいることを知識としてもっているので、「解決が困難であるなら諦める」ではなく、「自分達にできることを考えて取り組まなければならない」と主体的に学習活動を進めることが期待できる。また、自分達の力だけでは解決困難であることに気付くことができるため、児童が暮らしている地域の人や他の地域で暮らす人の協力が不可欠であることに気付く。協力を得るために児童は東の浜（地域の自然）について発信しなければならず、課題を設定し、情報を収集、整理・分析、まとめ・表現といったプロセスがつながっていく。

探究的な学習プロセスの構成

ア 課題設定の工夫

他人事ではなく、自分達の地域のために自分でできることを考えて、課題を設定し、解決に向けて学習に取り組んでいかなければならないという目的意識をもたせたい。そのために、児童は小単元1「SDGsとは何だろう」で、世界が抱えている問題とSDGs 17の目標について調べ、全ての目標が自分達の生活に関わっていることを学ばせた。その中でも特に「14 海の豊かさを守ろう」「15 陸の豊かさを守ろう」と特に関わりが深い地域性があることを児童に共有させる。

イ 情報収集の工夫

情報を収集するにあたっては、相手意識をもたせるために「だれが」「いつ」「どこで」「なぜ」「何を」「どのようにして」などの視点を与えるようにする。目的に応じて情報収集する方法を選択する場面では、それが適しているものか検討する時間を設け、よりよい情報収集の方法を考えさせる。失敗も経験させながら適した手段を選択できる力をつけたい。

ウ 整理・分析の工夫

体験したことや調べた情報を整理・分析する段階では、自分が得た情報をすべて活用するのではなく課題解決のためにどの情報が必要であるのかを考えさせたい。場合によっては、情報の収集不足があるかもしれないが、そのときには再び情報収集を行う時間を設ける。児童の実態に応じた柔軟な活動を展開していきたい。

エ まとめ・表現の工夫

相手意識や目的意識をもって表現方法を考えさせたい。そのために、聞き手になり相互評価を取り入れた学習を仕組む。また、相手に分かりやすく伝えるためには情報収集の際に意識させた「だれが」「いつ」「どこで」「なぜ」「何を」「どのようにして」などの視点を与えるようにする。さらに、言葉だけではなく図や写真、グラフといった視覚的に有効な表現を視点として付け加える。児童に表現力を付けることは総合的な学習だけでは難しいので国語や算数など教科横断的に表現する力を高めていく。

オ 自己のよさや学びのよさに気付かせるための工夫

課題解決に向けて情報収集や整理・分析、まとめや表現が適していたのかを振り返らせたい。もし、適していなかったのであれば今後はどのように改善すれば良いのかを考えさせて、これからの学習や生活に生かしてほしい。そのためには、聞き手からの率直な感想が必要であると考え。なので、振り返りを行う際には、相手からの感想も踏まえて、自分の振り返りを行わせる。今年度は佐賀県内の有明海側の小学校との交流会や海洋サミットを機会として考えている。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

本単元は、探究課題「海に関わる環境課題を調査し、発信する」に基づいて構想したものである。

6年生は何事にも真面目に取り組み、友達と協力しながら学校生活を送る事ができている。しかし、教師から与えられた課題には一生懸命取り組むが、自分達で課題を設定し、解決する方法を考え、実践する力は弱い。理由としては、自分の考えに自信がもてないことと活動に取り組む際に何のために行うかという目的意識が薄れがちであることが考えられる。また、相手意識をもち、目的や意図に応じて表現する方法を自ら選択するまでには至っていない。

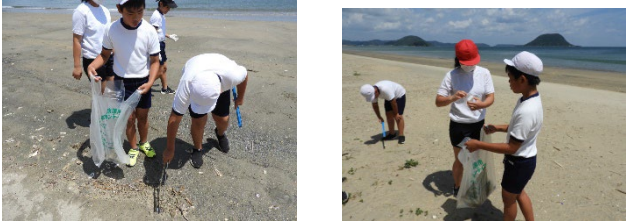




児童が自分の行っていることがきちんとゴールに向かっているのかを確かめ、安心して情報の収集や整理・分析を行うことができるように表現する機会をまとめに向かう途中に複数回設定する。相互評価を行いながら自己肯定感も高めていきたい。また、試行錯誤しながら課題解決する力も高めていきたい。相手意識をもたせるために単元を通して調べたり体験したりしてきたことを、まとめて発信して学習が完結するのではなく、これからも自分達にできることを考えて実践しようとする思いをもたせたい。持続可能な社会の担い手として環境に対する意識を高くもち、さらには、郷土に貢献する態度を育てたい。そのために、海（自然）はつながっていることや今までの経験から一部の人だけではなく、みんなで力を合わせて課題解決に向けて取り組まなければ改善していかないことを考えさせたい。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

<p>(1) 知識・技能</p> <p>①概念的な知識の獲得</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東の浜の環境を守るために、地域に住む人達だけではなく、環境保全を行っている人がいることが分かっている。 <p>②自在に活用することが可能な技能の獲得</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手意識や目的意識をもちながらまとめ・表現する方法が分かっている。 <p>③探究的な学びのよさの理解</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の未来はこれからの地域の担い手である自分達にかかっていることを理解している。 <p>(2) 思考・判断・表現</p> <p>①課題の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の特性や地域の人々等の思いを踏まえて課題を設定し、解決方法や手順を考え、見通しをもっている追求している。 <p>②情報の収集</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浜をきれいにするために必要な情報や手段を選択し、収集している。 <p>③整理・分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題解決に向けて収集した情報でどれが必要かを選んだり複数の考えを比較したりしている。 <p>④まとめ・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手意識や目的意識をもち、自分の考えをまとめ、適切な方法で表現している。 <p>(3) 主体的に学習に取り組む態度</p> <p>①自己理解・他者理解</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己有用感をもちつつ、異なる意見や他者の考えを受け入れながら、探究活動に取り組んでいる。 <p>②主体性・協働性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題意識をもって、自分なりの考えをもち、他者と協働して探究活動に取り組んでいる。 <p>③将来参画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・探究活動を通して、東の浜の問題解決に取り組もうとしている。 	
---	--

1-7. 単元の展開 (全52時間)

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
8	<p>SDGsについて知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度までの活用を想起する。 ・SDGsについて調べる。 ・「人間」「豊かさ」「地球」「平和」「協働」に分類して自分達の生活に関係していることに気付く。 ・昨年度までの取り組みと照らし合わせて活動の意味を確認し、これから自分達にできることを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGsとはなんであるのかを明らかにさせることで、これまでの取り組みが自分たち（地域や将来等）のためになっていることを結びつけさせ、目的意識をもたせる。
16	<p>東の浜（地域の自然）を守るためにできることを考えて取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域と結びつきの強いSDGsの目標について考え、取り組みを考え、課題を設定する。 ・現地調査を行い、現状の課題となっていることを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実現可能性について考えさせる。 ・地域での体験活動を通して、守りたい環境であることを感じさせる。 ・児童が自分達の地域のことを愛している人がいることを知る機会にするために活動や施設場所を検討する。

<ul style="list-style-type: none"> ・現地調査を数回行い、より確かな根拠付けを行う。(マイクロ)プラスチックが多く落ちている。 ・新聞に調査結果をまとめ、昨年度の調査結果と比較する。 ・いつもごみが多く浜にあるわけではないことから、美化活動に取り組む人がいるという仮説を立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報収集を意図的、計画的に行わせるために、現地調査の前に調査回数や範囲などを検討させる。
<p>8</p> <p>東の浜を守る活動について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の調査結果と比較したり東の浜での学校行事のときの様子を思い出したりする中で美化活動に取り組む人について調べる。その際には「いつ」「どこで」「だれが」「なぜ(思い)」という視点を整理しながら調べる。 ・新聞にまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に住んでいる人以外にも東の浜の環境を守るために活動している団体があることに気づかせる。 ・美化活動に取り組む人の気持ち(思い)に気付かせる。 
<p>20</p> <p>東の浜を守るために自分たちにできることを考えて活動しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これからも学校行事(東の浜で行う)を続けることができる取り組みを考える。 ・発信する方法を交流学习(有明海側の小学校、九州の海洋サミット参加校)から得る。 ・東の浜(地域の自然)を守るために何ができるかを一緒に考えてもらうためには、何を伝えるべきかを整理・分析を行う。 ・相手や目的に応じて分かりやすく伝える。 ・地域のためにできることを考えて取り組む。 ・取り組んできての成果と課題を下級生に引き継ぐ。  <ul style="list-style-type: none"> ・プラスチックを再利用してプレートを作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実現可能性を考えさせる。 ・自分たちの力だけでは、解決が困難であることに気付かせる。 ・地域や自分達以外の人の協力が環境を守るためには必要不可欠であることに気付かせる。 ・相手(有明海側の小学校、九州海洋サミット参加校)に応じて伝える内容を整理、分析させる。 ・発信する内容について検討させる。 ・成果と課題をまとめさせる。 ・在校生に伝えさせる。    

2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

2-1. 単元における位置づけ

単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

東の浜のごみ問題について、「守りたい環境であること」と「抱えている課題を知ってもらうこと」という視点に沿って、相手意識をもち、収集した情報でどれが必要かを考えることができる。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<p>1 前時までを振り返りながら学習課題や目的を確かめ、めあてを立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみ拾い ・地引き網体験 ・海海大好き集会 <p>○学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>(学習課題) 東の浜をきれいにするために呼びかけよう。</p> </div> <p>○活動の目的を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東の浜について知ってもらい、協力してくれる人を一人でも増やすため。 ・ごみを減らすため。 ・魚が間違ってマイクロプラスチックを食べないようにするため。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>(めあて) 何を伝えるのかを考え、必要な情報を選ぼう。</p> </div> <p>2 内容を考える。</p> <p>【みんなで】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・守りたいと思ってもらうために東の浜の良いところを伝える。 ・協力してもらうために問題を伝える。 ・自分達がしていることを伝える。 <p>○より具体的に何を伝えるのかを考える。</p>	<p>○今まで取り組んできた活動を想起させるために、活動写真を掲示する。</p> <p>○目的意識をもたせるために前時に設定した課題を改めて確認する。</p> <p>○目的意識をもたせるために自分達が活動を行うことで東の浜がどうなるのか問いかける。</p> <p>○児童が主体的に学習に取り組むことができるように「協力したい」と思ってもらうためには、「何を」発信するのかという視点を与える。</p> <p>○まとめ・表現につなげるために3つの内容について</p>

【一人で】

- ・きれいな魚がいっぱいいる。
- ・浜で遊ぶことができる。
- ・虹の松原が近くにある。
- ・ごみがたくさんある。
- ・唐津だけのごみではない。
- ・東唐津小学校のみんなでごみ拾いをしている。
- ・マイクロプラスチックを再利用したコースターをつくったことがある。

【みんなで】

- ① どんどころか（地域性）
- ② 抱えている課題
- ③ 取り組んできた活動について

3 担当（グループ）を決める。

- ① どんどころか（地域性）
- ② 抱えている課題
- ③ 取り組んできた活動について
- ④ 取り組んできた活動について（2）



4 本時の振り返りをする。

- ・相手に東の浜のいいところを伝えて一緒に守りたいと思ってもらえるように、呼びかけをしたい。
- ・環境（東の浜）を守るために協力してもらえるように呼びかけたい。
- ・ごみの量を伝える。

て、具体的に考えさせる。

- 協働的に探究学習に取り組ませるために、意見を共有させる。
- 発信する担当者を決める場面で活動が円滑に進むようにグルーピングして黒板に提示する。
- 安心して学習させることと活動量を確保するために一つのグループの人数は2～3人にする。

◆評価規準及び評価方法

課題解決に向けて収集した情報でどれが必要かを選んだり複数の考えを比較したりしている。

（振り返りシート）

〈具体的な児童の姿〉

- ・相手意識をもち、収集した情報でどれが必要かを考えることができる。
- 児童への手立て ➡ 話し手と聞き手になるロール・プレイングをしながら必要な情報を一緒に考える。

- 本時の活動についての思いや次時の活動を書くよう助言する。

3. 今回の活動の自己評価

- ・今まで取り組んできたことをもとに児童に課題を設定させて学習に取り組んだことで、現地調査など活動が円滑に進んだ。
- ・目的意識と相手意識を確かめながら学習を進めたことで、活動の目的や内容を考えさせることができた。
- ・児童が見通しをもって学習に取り組むようになった。
- ・学習に粘り強く取り組むようになった。
学習の中でうまくいかない経験をしたことで課題の設定、情報収集、整理分析、まとめ・表現という過程を単調に進めるだけでなく、整理・分析の過程で情報収集が不十分だと判断し、探究の過程を行ったり来たりするようになった。
- ・相手意識をもって活動することができた。
有明海側の小学校とのリモート交流会と海洋サミットでの発表は、相手によって話す内容を考える機会となり、児童が情報収集から整理・分析の過程へとつなげることができた。
- ・言葉や文章を組み立てる力が高まった。

4. 今後の課題

- ・学習に時間がかかるので児童が主体的に活動するようになるまで、教師が待つ（我慢する）必要がある。
- ・児童が自分たちで課題を見つけ、決定することが難しいので、児童同士で案を出し合った後に実現可能な取り組みかどうかという視点をもたせなければならない。
- ・児童が主体的に学習に取り組むことができていなかった。
児童が目的意識をもっていなかったり地域についての知識が十分ではなかったりすることが原因だと考えられる。
- ・学習前と後で、設定した課題がどのように変わったのかを児童に感じさせることができなかった。
- ・地域とのかかわりが少ない。
- ・まとめを行う目的を感じることができない。
6年生では学習してきたことを積極的に発信していくことが必要だと感じた。そこで、児童は課題を発見し、情報収集をする必要性が出てくると考える。
- ・持続可能な取り組みになっていない。
児童は自分たちにできることを中心に考えていた。
- ・内容が海と陸（虹の松原）の2つの目標に偏った。各教科でもSDGsについて取り扱いを充実させるとともに、総合的な学習では17の目標のうち、どの目標にどのように取り組んでいくかを児童に考えさせる時間も必要。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

特にありません。

※実施した単元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS明朝、10.5ポイント / マージン：上下端20mm、左右端16mm

※ファイル名は「学習内容報告書_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書_海洋市立パイオニア小学校1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。